

「阪神5大学サステナブルがん人材養成プラン」
第4回プロジェクト運営推進委員会 議事要旨

日時：2024年12月11日（水）17時15分～18時15分

場所：Zoom オンライン（会議主管：関西医科大学）

出席者（敬称略）：

近畿大学	医学部	中川、林、松尾、門前、高濱、吉田、 谷崎、竹上、小山、土井、神田、宮口、河村
近畿大学	理工学部	福島、西郷（医学部兼務）、木下、仲間、山田（英）
近畿大学	情報学部	半田
大阪公立大学	医学部	川口、金田、中尾、澁谷、孝橋、中前、藤田
大阪公立大学	看護学部	林田、徳岡、田中（誠）
神戸大学	医学部	南、金原、浅野、中邊
神戸大学	医学部保健学科	副島、山田（昌）
関西医科大学	医学部	谷川、伊藤（量）、加藤、辻川
兵庫医科大学	医学部	栗林、大搦、鈴木、伊藤（貴）
近畿がん診療推進ネットワーク		早野

以上 44名

委員会の開始に際して、谷川先生から挨拶があった。

1. がんプロ拠点校報告（近畿大学医学部 林秀敏先生）【資料1】

林先生から資料に基づき以下の報告があった。

<第2回プロジェクト統括会議>

- ・10月29日にプロジェクト統括会議を実施した。参加者は47名。統括委員を中心にがんプロの取り組み（薬剤師教育、学部間連携、関西医科大学国際がん新薬開発センターなど）について意見交換が行われた。

<活動成果評価委員会>

- ・2月28日にWebで開催予定。評価委員は昨年と同じ7名である。
- ・昨年度の総合評価は5点満点中4.3点であった。改善点として放射線治療、病理医等の入学者増加と人材養成が挙がっており、各大学にて入学者の確保をお願いしたい。加えて、HP、SNSでの情報発信も改善点であったが、今年度から本プランのHPを大幅にリニューアルした。

<がんプロ研究シンポジウム>

- ・2月1日にオービックホールにて開催し、がんプロ大学院生の研究発表などを予定している。幅広い医療従事者を対象として、現在も参加登録を受付中である。

<オンライン教育>

- ・今年度の第4期からオンライン教育（e-learning）を開始した。内容は「腫瘍学Ⅰ 基盤講義」と「腫瘍学Ⅱ 横断講義」で構成しており、大学院の正規単位の認定も可能である。

- ・既存の講義動画を利用するだけでなく、一部の講義は新たに阪神 5 大学がんプロの教員が作成した。新規に作成した講義は他大学がんプロからも高く評価されている。

高濱先生からオンライン教育について以下の補足説明があった。

- ・これまでシステム上の問題でどの学生がどの講義を受講したかの確認ができない状況だったが、筑波大学の更新作業を経て受講確認ができるようになった。
- ・受講状況の確認方法等は事務担当者会議などで周知していく。

谷川先生から e-learning の講義動画作成への協力について感謝の言葉があった。また、がんプロ研究シンポジウムには多数の参加をお願いしたいと依頼があった。

2. 各 TF 報告【資料 2】

各 TF の取り組み状況について、担当校から資料に基づき以下の通り報告があった（南先生が途中退席予定のため、TF3 及び神戸大学医学部医学科の報告を先に実施）。

<TF3 研究開発>（神戸大学医学部医学科 南先生）

- ・TF3 のミッションと課題、2023 年度の活動内容と評価は資料の通り。
- ・10 月 2 日に TF3 委員会を開催し、事業の進捗、各大学の取り組み、今後の入学者の確保などについて議論を行った。
- ・正規課程コースとインテンシブコースの開設状況と登録者は資料の通り。
- ・神戸大学医学部、関西医科大学、大阪公立大学医学部で TF3 関係のセミナーを実施・企画中である。
- ・連携大学共同プログラムとして 2 月 8 日に「エキスパートパネルの効率化、AI の活用」と題したシンポジウムを予定している。

<神戸大学医学部医学科>（南先生）

- ・がんプロ組織図は資料の通り。新たに修士課程の正規課程コースを設けた。インテンシブコースでは比較的多くの登録者がいるが、修士、博士の正規課程コースも登録者を増やしたい。
- ・8 月 5 日と 9 月 27 日にセミナーを実施した。

林先生からがん薬物療法のインテンシブコースの内容について質問があり、南先生から既存の取り組みを活用しつつ、登録者にはエキスパートパネルの参加や e-learning の受講を行ってもらっていると回答があった。

<TF1 医療現場>（近畿大学医学部 高濱先生）

- ・TF1 の課題、正規コース、インテンシブコースは資料の通り。
- ・8 月 2 日に他大学や学会とも共催の上、がんプロ腫瘍循環器セミナーを開催した。
- ・近畿がん診療ネットワークとの共催で、10 月 3 日と 11 月 8 日に irAE ネットワークセミナーを開催した。毎回多数の参加を得て好評のセミナーとなっている。

- ・緩和ケア領域のワーキンググループを組織し、11月28日に打合せを行った。人材育成の課題の共有、教育の相互補完、既存事業の活用などについて議論が行われた。
- ・地域や全国に向けた教育の一環として、10月12日に大阪がん医療セミナー2024を実施した。医療従事者向け、患者・家族・一般向けの2部構成とし、盛況のうちに終了した。
- ・複数の大学・施設で免疫関連有害事象を共有する imnet5 を各大学持ち回りで行っている。近畿大学、関西医科大学、兵庫医科大学主催分は開催済みであり、今年度中に神戸大学主催でも開催予定である。

林先生より、TF1を担当していた近畿大学医学部の川上先生が東北大学へ異動されたことを受け、阪神5大学がんプロと東北大学がんプロとの連携も今後計画したいと発言があった。

<TF2 予防医療> (大阪公立大学医学部 川口先生)

- ・TF2では資料の通り4つの目標に基づき活動を行っている。
- ・大阪公立大学医学部ではバイオバンクを利用した健診データベースの整理・活用の研究、オンライン教育コンテンツの作成を行っている。また、1月28日に医療ビッグデータを用いたプログラミングワークショップを開催予定である。
- ・近畿大学情報学部ではバイオインフォマティクス等のデータ解析専門家育成のため、情報学研究科情報学専攻の設置計画が進んでいる。
- ・近畿大学理工学部では遺伝カウンセラー養成課程での人材育成が行われている。
- ・大阪公立大学看護学部では10月6日に「がんとの共生を支えるアピアランスケア」をテーマとしたがん看護講演会が行われた。
- ・兵庫医科大学では2月14日に「多角的なサバイバーに対するケアを学ぶ」をテーマとしたセミナーを予定している。
- ・神戸大学医学部保健学科では2月1日に「がん患者がそのひとらしく生き、逝くための在宅以降支援」をテーマとしたセミナーを予定している。
- ・関西医科大学では9月27日に「最新がん医療セミナー～働く世代のがんについて～」が開催された。

3. 各大学・学部の活動状況について【資料3】

各大学・学部の取り組み状況について、資料に基づき以下の通り報告があった。

<近畿大学医学部> (林先生)

- ・学部におけるがんプロの体制は資料の通りである。imNET5と研究シンポジウムの担当を川上先生から高濱先生に変更した。
- ・がんプロ大学院生は2024年度に6名が入学した。2025年度は病理1名、外科1名、腫瘍内科2名、放射線腫瘍2名が入学予定であるが、引き続き学生確保を進める。

<近畿大学理工学部> (西郷先生)

- ・2025年度はがんプロ大学院生3名の入学を予定している。

- ・今年度のインテンシブコースは14名が受講し、9名が修了した。全国から講師を招聘し講義を行った。
- ・12月20日に遺伝カウンセリング学会の理事長を招いて特別セミナーを行う。

<近畿大学情報学部>（半田先生）

- ・バイオインフォマティクス等のデータ解析専門家育成のため、2026年度に情報学研究科情報学専攻（仮称）を設置する計画である。

<大阪公立大学医学部>（金田先生）

- ・がんプロ大学院生は2024年度に4名が入学した。今後も入学者を増やしていく。
- ・MedCity21 医学講座として市民公開講座を実施している。今年度は5回開催予定である。
- ・9月20日に次世代のがんプロフェッショナル養成セミナーを実施した。
- ・TF1 領域として10月18日に「大阪腫瘍病理セミナー」を実施した。また、3月28日に「（仮）臨床医と病理医のための希少肺癌医療セミナー」を実施予定である。
- ・TF2 領域として、11月29日に「第2回ビッグデータを用いたがん予防医療国際シンポジウム」を実施した。参加人数は45名であった。

林先生より、ビッグデータの専門医が入学したとのことで、今後の活動に期待している旨発言があった。

<大阪公立大学看護学部>（林田先生）

- ・正規課程コースには今年度2名が入学した。修業年限は2年間である。
- ・インテンシブコースとしては2種類のコースを設置している。インテンシブAには2名、インテンシブBには4名が登録している。
- ・10月6日にがん看護講演会を実施した。

<神戸大学医学部保健学科>（副島先生）

- ・今年度から大学院でがん看護養成コースを開講した。
- ・2月1日にがん患者の在宅移行支援に関するセミナーを開催予定。

<関西医科大学医学部>（谷川先生）

- ・がんプロ大学院生の今年度の入学者は2名。来年度も2名が入学予定である。
- ・11月19日、12月10日、12月26日にがんプロセミナーを実施（予定）している。

<兵庫医科大学医学部>（栗林先生）

- ・大学院コースにおいては毎年途切れることなく入学者を確保できている。薬学部、リハビリテーション学部、看護学部を有する大学の特色を活かしながら大学院生を確保したい。
- ・7月5日、8月19日、12月23日、2月14日にがんプロセミナーを実施（予定）している。

林先生より、がんプロでは薬剤師の養成も課題となっているため、各大学にも協力をお願いしたい旨説明があった。

4. 特定非営利活動法人近畿がん診療推進ネットワークよりご案内【資料 4】

標記ネットワークを担当する近畿大学医学部・中川先生から資料に基づき以下の案内があった。

<英語論文校正費支援助成金>

- ・今年度の申請期間は 2 月 28 日に終了する予定である。早めの申請をお願いしたい。

<学術奨励賞選考会>

- ・がん医療の進展に貢献する優れた原著論文を発表した筆頭著者に表彰を行う取り組みである。
- ・がんプロ大学院生や修了生（医学研究科は修了 1 年以内、それ以外は 5 年以内）であれば応募可能である。
- ・1 月 10 日を応募締切とし、2 月 6 日にオンラインで選考会を行い、授与者を決定する。積極的に応募をお願いしたい。

谷川先生から校正費の上限額や業者の選定について質問があり、中川先生から現状では上限額は設けておらず、業者は論文の著者が選定して問題ないとの回答があった。

栗林先生から校正費の助成を受けた場合、論文に謝礼文を記載する必要があるか質問があり、中川先生から可能であれば記載をお願いしたいと回答があった。林先生から助成を申請するのは論文掲載後となるため、謝礼文の掲載は適切な方法を検討する必要があると補足説明があった。

5. その他

谷川先生から次回の運営推進委員会の開催時期について確認があり、林先生から 2025 年 5 月頃が望ましいと意見があった。併せて、次回主管は神戸大学医学部医学科となる旨確認が行われた。

以上